

がん治療時の口腔ケアについて

がん治療時のお口のトラブルについて

がんの治療時には、副作用の1つとして口内炎や口腔乾燥などの症状が現れることがあります。また、これまで症状のなかったむし歯や歯周病などの歯の症状が悪化する可能性があります。

口内炎などによって食事や睡眠が不十分になったり、会話が不自由になってしまうことで、日常生活に支障をきたす可能性があります。また、それらのトラブルが引き金となってがん治療が中断される可能性があります。



お口のトラブルの例

① 手術時

- 口の中の細菌による誤嚥性肺炎
- 気管挿管時の歯の損傷
- 口やのど、食道がんの術後創部の感染



② 抗がん剤治療時

- 口内炎
- むし歯や歯周病の悪化
- 味覚異常
- 口腔乾燥



③ 放射線治療時

お口の周りに放射線が当たることによって以下のトラブルが引き起こされます。

- | 治療中 | 治療後 |
|--------------|------------|
| ● 口内炎 | ● 顎骨や粘膜の壊死 |
| ● むし歯や歯周病の悪化 | ● 口腔乾燥 |
| ● 味覚異常 | |
| ● 口腔乾燥 | |



これらのトラブルを予防するために、治療前に歯科医院を受診しましょう。

がん治療における口腔ケア

① 治療前のケア

- お口の検診
- お口や義歯などの清掃
- お口のケア方法について指導を受ける。

歯科医院を受診し、これからがん治療が始まる事を伝えましょう。

② 治療中のケア

- 口腔内を清潔に保ちましょう。
- 口腔内の乾燥を防ぎましょう。
- 口内炎ができてしまったら刺激を避けましょう。

がん治療を完遂するために歯科受診を継続しましょう。

③ 治療後のケア

治療後も、歯科医院でむし歯や歯周病をはじめとしたお口の管理を継続して行いましょう。

また、治療後であっても口腔乾燥や抜歯による顎骨壊死などの遅れて発症する副作用があるため、定期的に歯科医院を受診しましょう。



お口の環境を整え、万全の状態でがん治療にのぞみましょう。

関連リンク

※日本歯科医師会からのご案内

がん治療と口のケア -がん治療を乗り越えるために- 歯とお口のことは何でもわかる テーマパーク 8020 (jda.or.jp)
<https://www.jda.or.jp/park/relation/cancerandmousecare.html>

※がん連携登録歯科医院のご案内

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/medical_treatment/dental/dentist_search.html



NARA DENTAL ASSOCIATION

一般社団法人奈良県歯科医師会

<https://www.nashikai.or.jp/index.html>

